

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

地域連携推進センター ニュースレター 〈第48号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:吉用武史

はじめに

産学官民連携センター「ココプラ」 開設記念イベント 6月13日

平成27年4月から開設された高知県産学官民連携センター(愛称:ココプラ)の開設記念イベントが永国寺キャンパスにて6月13日に行われます。

イベントは「記念講演」、「土佐まるごと社中プレゼン大会」、「大交流会」の3部構成となります。

記念講演

「地方発イノベーションへの挑戦—シリコンバレーでのスタートアップと高知での起業—」

(株)エクスメディオ代表取締役 物部 真一郎 氏

土佐まるごと社中プレゼン大会

産学官民連携や地域活性化に取り組む方々30名によるプレゼンテーション大会です!

新規事業の提案、連携パートナーの募集、夢に向けた取り組みなど、様々な発表を行います。

大交流会 (参加費 4千円)

土佐まるごと社中のメインイベントです! 交流のための名刺を多数ご持参ください。異分野の方々が集い、相互の交流の輪を大いに広め、深めていただければ幸いです。

詳細は以下ホームページをご参照ください。

(<http://www.kocopla.jp/info/dtl.php?ID=536>)

目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1. 土佐フードビジネスクリエイター人材創出
第8期生入講

Topic2. 2015 カツオセミナーin 高知 講演募集

p3 産学官民連携推進部門

Topic1. ココプラ第1回シーズ・研究内容紹介

Topic2. 研究成果展開事業

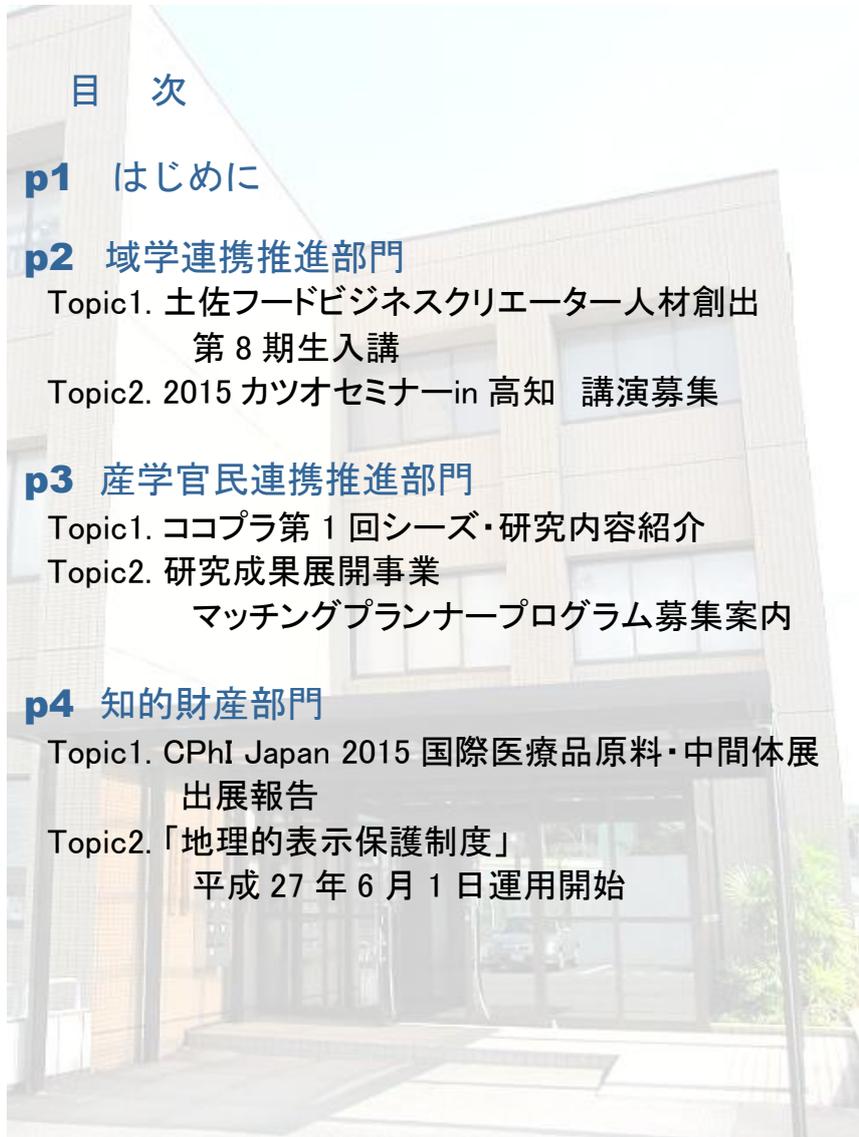
マッチングプランナープログラム募集案内

p4 知的財産部門

Topic1. CPhI Japan 2015 国際医療品原料・中間体展
出展報告

Topic2. 「地理的表示保護制度」

平成27年6月1日運用開始



Topic 1. 土佐フードビジネスクリエーター人材創出 第8期生入講

高知県をはじめとした地域からの寄附講座として実施している「土佐フードビジネスクリエーター人材創出」の平成27年度入講式を5月8日(金)に執り行いました。

新規受講生として42名を迎え入れ、第8期土佐FBCがスタートしました。

Aコース:4名、Bコース:8名、Cコース10名、
選択受講コース:13名、企業研修コース:7名



Topic 2. 2015 カツオセミナーin 高知 講演募集

高知大学と黒潮町との連携により運営している日本カツオ学会の活動の一つとして、「カツオセミナー in 高知」を7月11日(土)13時から、高知大学朝倉キャンパス メディアホールにて開催いたします。

第4回目となる今回は、「食」としてのカツオに着目し、新たな食品の機能性表示制度の活用も見据えた、基調講演及び特別講演の内容となります。

基調講演:山本 万里 氏 (農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 食品機能研究領域長)

特別講演①:土居 幹治 氏 (マルトモ(株) 常務執行役員 開発本部長 兼 広報部長)

特別講演②:和田 俊 先生 (東京海洋大学 名誉教授)

基調講演、特別講演演者によるパネルディスカッション

一般講演:口頭発表(12分発表・3分質疑)を4演題程度

交流会:学内学生会館 2階で立食パーティー

現在、一般講演の演題を募集しております。食とカツオをテーマとした調査研究結果がございましたら、会員・非会員を問わず応募可能ですので、多くの皆様のご応募をお待ちしております。

一般講演募集締切り:6月19日(金)15時まで

詳細は以下アドレスをご参照ください。

(http://www.katsuo-gakkai.jp/event/data/20150507_katuo.pdf)

Topic 1. ココプラ第1回シーズ・研究内容紹介 ～地域協働学部 教授 玉里 恵美子～

第1回シーズ・研究内容紹介が平成27年5月20日(水)18時30分よりココプラ交流スペースにて、開催されました。今回は、高知大学地域協働学部の玉里恵美子教授から、平成26年度「高知大学地域志向研究」に採択された「集落活動センターにかかわる協働モデルとプラットフォームの構築」(代表:玉里)で得られた研究成果をもとに、高知県が全国に先駆けて取り組んでいる「集落活動センター」について紹介し、その課題を明らかにするとともに、集落活動センターの成立条件にもふれられました。また、「郡部」の課題に「市部」が今後どのように関わっていくことができるのか、参加者とともに考えました。交流スペースがいっぱいになる盛況ぶりで、参加者の皆さんは、非常に熱心に発表を聞かれており、関心の高いテーマであったことが伺えました。【参加者数:32名】

なお、ココプラ シーズ・研究内容紹介は、ココプラ交流スペースにて、第2水曜日を除く毎週水曜日の18時30分より、高知県内高等教育機関の持ち回りで開催されます。



Topic 2. 研究成果展開事業 マッチングプランナープログラム募集案内

本プログラムは、地域における企業の開発ニーズを戦略的に把握し、全国の大学等の研究成果、知的財産の中からその解決に資するものを結びつける専門人材「マッチングプランナー」を配置して企業の開発ニーズを解決し、高付加価値・競争力のある地域科学技術イノベーションを創出することを目的としています。

応募される場合は、研究国際部研究推進課研究助成係までお問い合わせください。

(研究推進課研究助成係:kk04@kochi-u.ac.jp、内線番号:8177, 8193)

応募受付締切は平成27年7月14日(火)正午となっております。(厳守)

支援の目的 :企業の競争力強化に資するべく、企業ニーズの解決等のため、大学等を対象に大学シーズを活用した試験研究等を支援します。

申請者の要件 :大学等の研究者による申請(マッチングプランナーが発掘した企業ニーズの解決のための研究開発提案)、または、大学等の研究者及びコーディネータの共同申請

研究開発期間 :原則1年間

研究開発の総額:基準額 170 万円(間接経費を含む)

ただし、上限は設けませんが、用途、理由、およびそれにより期待される効果を明確に記載いただくことを条件に、基準額を超える申請が可能です。

公募事業の詳細内容、提案書様式等は下記ホームページをご覧ください。

<http://www.jst.go.jp/mp/index.html>

Topic 1. CPhI Japan2015 国際医療品原料・中間体展 出展報告

4月22日から24日の間、東京ビッグサイトにおいて、医療分野における原薬、中間体、添加剤の有力サプライヤーとバイヤーが世界各国から一同に集結する国内最大のトレードショーである「CPhI Japan2015 国際医療品原料・中間体展」が開催されました。

本学からは、複合領域科学部門 片岡正典特任講師が「アミノアシル化ヌクレオチドの効率合成」と「核酸中の全ての塩基を修飾する新技術」について研究内容等の紹介を行いました。



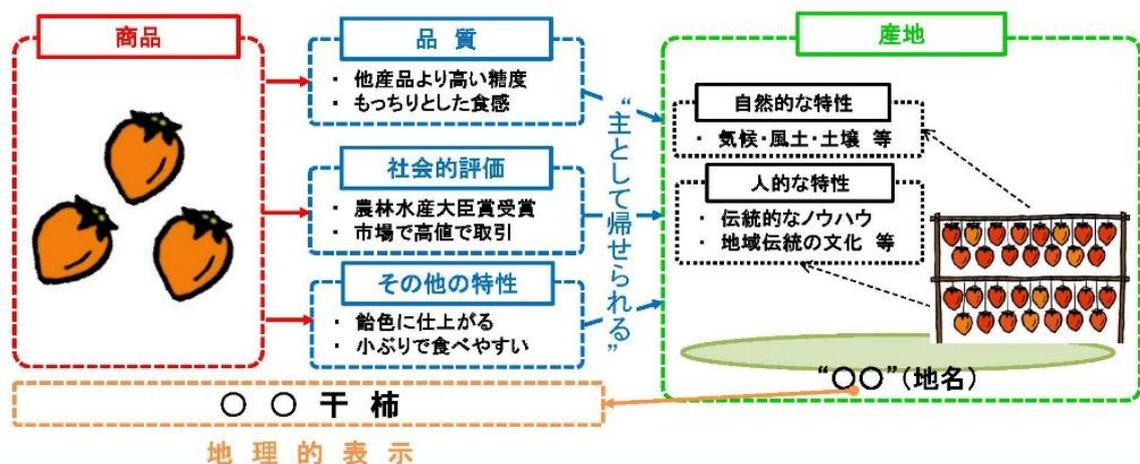
Topic 2. 「地理的表示保護制度」平成 27 年 6 月 1 日運用開始

「地理的表示保護制度」とは、地域で長年培われた特別の生産方法や気候・風土・土壌などの生産地の特性により、高い品質と評価を獲得するに至った製品の名称を知的財産として保護する制度です。生産業者の利益の保護を図ると同時に、農林水産業や関連産業の発展、消費者の利益の保護も期待されます。今後、知的財産部門としてこの新たな知的財産にどのように関わっていけるか検討していきます。

地理的表示保護制度とは

- 地理的表示保護制度とは、品質、社会的評価その他の確立した特性が産地と結びついている製品について、その名称を知的財産として保護するもの。国際的に広く認知されており、世界で100カ国を超える国で保護。
- 農林水産物・食品について本制度を導入し、生産者が本来得べき利益を確保するとともに、消費者の信頼の確保を目指す。

○ 地理的表示のイメージ ～ ○○干柿(※架空の農産物)を例に ～



- 諸外国では、地理的表示に対する独立した保護を与えている国は、100か国以上。

[地理的表示に対する独立した保護を与えている国] 111か国

アジア	中東	欧州(EUを除く)	EU	中南米	アフリカ
11か国	7か国	17か国	(28か国)	24か国	24か国

※ 国際貿易センター(WTOと国連貿易開発会議(UNCTAD)の共同設立機関)調べ(平成21年)

引用:農林水産省「地理的表示法について」平成 26 年 11 月資料より